



三條北ロータリークラブ週報

慈愛の種を 播きましょう

例会日
2003. 4. 8
累計 No 797
当年 No 38

国際ロータリー会長 ビチャイ・ラタクル 第2560地区ガバナー 佐野 孝
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560sano/>

会長/梨木建夫
幹事/五十嵐 茂
SAA/佐藤弘志

例会日/火曜日 12:30~13:30
例会場/三條ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局/三條市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972
メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行事: 卓話「百名山、思い出の北海道幌尻岳」久保さんと登らん会 会長 久保富彦様
出席: 本日の出席 60名中 47名

先々週の出席率 59名中 49名 79.66% (前年同期74.14%)

先週のメイクアップ: 4月1日 親睦活動委員会出席 (敬称略) 石川友意、丸山誠一

丸山 勝、笹原壮玄、阿部勝子、齊藤興一、小林幹扶

神田敬宏、米山キクエ、梨木建夫、五十嵐 茂、星野義男

4月3日 東京池袋RCへ 笹原壮玄さん

ゲスト: 久保さんと登らん会 会長 久保富彦様

ビジター: 三條南RCより 滝口恵介さん、永桶栄資さん、吉田行雄さん

会長挨拶: 梨木 建夫



会長挨拶をするようになってから一段と本や新聞を隅々まで読む機会が多くなりました。本にはいろいろな内容がありますが、読んでみると元気になってくる本があります。又勇気が湧いてくる本があります。

そこで「プラス思考論第2弾」をお話ししてみたいと思います。人の潜在能力とは「人間が誰でも心に内在しているもので何かを成し遂げようとする力」のことである。人生においても仕事においても価値ある目標を設定し、それを達成できる力を誰もが無限に備えているということだ。ところが「自分にはそんな能力やエネルギーなどないのではないか」と錯覚している人のなんと多いことだろう。人間の行動の基本原理は「自分の欲望達成にのみ行動する」ということであるから、自分がこれだという価値ある目標を設定することによって、達成する意欲が出て行動するのである。夢をどんどん膨らませる。そうすると強い意欲が芽生え、その目標を達成しようと苦労と努力を惜しみなくするのである。その結果、達成感と成就感が得られた時にこれがその人

の潜在能力が引き出されてということなのである。自分が今までやったことのないものに挑戦して目標を達成した時には「自分もやればできるんだ」という自信がわいてくる。自信はついてくるものではなく、わいてくるものである。世の中には自分の潜在能力に気付かなかったり、信用していない人が多すぎる。潜在能力は人生や仕事に大きな力をもたらす「自分にも無限の可能性があるので」ということを強く信じて欲しい。又「できるというプラス思考と「どうにもならない」というマイナス思考があるが、このどちらかを持つことによって、長い人生では大きな差となって表れる。「やれば必ずできる」という強い信念を持てばスキル（技術）も向上し生き生きしてくる。「おれには能力もないからどうにもならない」と思うと気力がなくなり暗い人生を歩むことになる。可能性は誰にでもあるのだからいつも挑戦する気概が大切である。「今日は今までやった事のない仕事に挑戦する」という心を持って仕事すればマンネリ化が防げ、新しい発見に必ず到達できる。と以上が商工会議所情報誌「石垣」の中に掲載された文章を私なりに要約させていただきました。メンタル面でこれらの文章（言葉）には力があります。よし頑張ろう、という気にさせてくれるものです。世の中の仕組みが複雑になって自分自身と周りとのかかわりが解りにくくなってはいるけれど改めて見直してみれば、社会の仕組みはそれぞれに独自の意義を持っている。それに心底気付けば厳しい状況を乗り越える意欲や勇気が、また新たに生まれてくるのではなからうかと思えます。そしてこの不況の中でも決算法人の公示による上位者の会員の方も何人かいらっしゃいますのでその人達を目標にモチベーションをあげて奮い立ちたいと思います。でも、しかしただやみくもにナンバーワンでいるよりも貴重なオンリーワンでもありたいとも思います。

幹事報告： 五十嵐幹事

- ・下田ライオンズクラブより 六クラブゴルフ会顔合わせのご案内
日時 平成15年4月9日（水）18：30～
会場 大三（下田村）
- ・にいがた緑の百年物語緑化推進委員会より 15年度会費納入のお願い
- ・佐野ガバナーより 会員増強についてのお願い
米山奨学生世話クラブのお願い

委員会報告： 親睦活動委員会

6／4（水）梨木年度の思い出づくりのために新潟に新しくオープンします日航ホテルで同伴パーティーを企画しました。奥様、ご家族、友人どなたでもお誘い頂き多数ご参加下さい。詳細は後日ご案内致します。

- * 齊藤興一会員より 先週の卓話の中に誤りがありましたので、訂正させて頂きます
尾竹竹坡の作品名「かよい」→「おとずれ」
鳩山一郎は当選しました。
東京を引き払ったのではなく、東京はそのままにして越後によく戻るように

の幌尻岳登山は私には一生忘れられない思い出の山となりました。

つたないお話を聞いて頂きありがとうございました。

会員の声： 「じょんのび」とゴルフ 中條 耕二

65歳を過ぎてから仲間で二つの会を創った。

「じょんのび」は三条の方言である。英語でリラックスするの意味にも通じる。

「人生は夢か幻」あっという間に過ぎる。65歳を過ぎ、昔の小学校・中学校の仲間の会の名前が「じょんのび会」である。毎月のように旅行したり人の話を聞いたり、お酒を飲んでじょんのびする集いである。北クラブの斎藤 正さんが会長で約80名男女半々の68歳を迎える年代の会である。果たして誰が最後まで残るか、今のところは落伍者はいない。楽しい、賑やかな家族的な会とも言える。会員に医者ろんがいるので安心している。昔はお医者さんではなく、医者ろんと言っていたことを思い出しているが、方言は親しみがある。しかし今は通じない言葉もあるようだ。マイクを持つとはなさない人もいるし、人生の歩み方の違いで十人十色であるのが面白く、楽しくもある。

ゴルフ会も毎月開催しているが、腕は不思議と似ているようだ、がその日の調子でにぎりを取ったり取られたりで1泊2日のプレーも年に何回かあり、女子プロを呼んでの競技も賑やかで、女子プロから習う人もいるが、プロを相手に教える稀な会員もいる。会の名は「青空会」というが、先生のあだ名と晴れる日をと祈りを込めた名前である。15、6名の会でありちょうど人数もコンペをやりやすい精鋭達である。

約半世紀、世の中と戦い、家族を幸せに、地域を豊かに、そして仕事一筋で働いた面々の2つの会である。

4月15日例会： 卓話「登って、旅して」久保さんと登らん会 幹事坂爪幸穂様

4月22日例会： 夜例会 18：30～三条ロイヤルホテル

4月29日例会： 休会（みどりの日）

5月6日例会： 卓話

5月13日例会： 社会奉仕事業「裏館小学校に森を造る植樹」12：30～

5月20日例会： 卓話 市立裏館小学校校長 大野源（げん）様

5月27日例会： 地区協議会報告会

6月4日例会： （水）同伴パーティー（新ホテル日航）三条出発18：00

6月10日例会： 家庭会合報告会

6月17日例会： クラブフォーラム（次年度）

6月24日例会： 会長幹事慰労会